勝山市のすがた

勝山市統計書

平成 13 年版

白山文化交流都市・恐竜王国勝山

勝 山 市

は し が き

ここに平成13年版「勝山市のすがた」を刊行いたします。

この統計書は、勝山市の人口、産業、教育、福祉など市民生活の各分野にわたる基本的な統計資料を総合的かつ系統的に収録したものです。本書が各方面において広く利用され、市勢の動向の的確な把握と、現状の正しい認識に役立つことができれば幸いです。

編集にあたりましては、内容の整備に努めましたが、今後とも各方面からご指導をいただき、より一層内容の充実を図ってまいりたいと存じます。

最後に、本書の刊行にあたり貴重な資料の提供並びにご協力をいただきました関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平 成 14 年 1 月

勝山市長　山岸　正裕

凡　　例

1．本書は勝山市に関する市勢の各般にわたる基礎的な統計資料を収録したものです。

2．本書はできるかぎり最新の統計資料を主として収録し、比較対照のため過去の資料も合わせて掲載してあります。

3．資料は官公庁、各種団体、企業及び市役所内各課からの提供・報告又は総務課において統計資料から直接収集したものです。

4．資料の出所名は各表の右下に掲げ、年次、年度、表中の数字の単位は表の右上に掲げましたが、一見して明らかなものは省略してあります。

5．数字の単位未満は四捨五入しましたので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。

6．統計表中「年次」又は「年」とあるのは年間（１月～12月）、「年度」とあるのは年度間（４月～翌年３月）を示しています。

7．統計表中の符号の用途は次のとおりです。

「－」 … 皆無又は該当数字なし

「…」 … 不詳

「×」 … １又は２の事業所に属する数を秘匿としたもの

「△」 … 減少

8．本書に収録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要な場合及び疑義のある場合には、各表ごとにある各資料出所機関又は総務課に照会してください。

9．市内の地区割については、特に注意書きがなければ勝山市内公民館の区域割によるものとします。

目　　次

◆概　要
◎市制施行及び市章の説明 ……………………1
1．沿　　革 ……………………………………1
2．地　　勢 ……………………………………2
3．位　　置 ……………………………………2
4．位　置　図 …………………………………3
5．面　　積 ……………………………………3

◆歴　史
6．勝山市の歴史 ………………………………4

◆市民生活 ……………………………………12

◆気　象
7．気象の概況（平成１２年） ………………14
8．過去の気象最高（低）記録 ………………15
9．寒候期年別最深積雪 ………………………15
10．月別平均気温・降水量の準平年値 ………15

◆世帯と人口
11. 世帯数と人口 ……………………………16
12. 地区別世帯数及び人口 …………………17
13. 人口動態 …………………………………17
14. 人口動態の推移 …………………………18
15. 年齢別（５歳階級）人口 ………………19
16．産業分類別・従業上の地位別就業者 ……20
17. 人口集中地区（ＤＩＤ） ………………20
18. 通勤・通学別流出人口 …………………21
19. 通勤・通学別流入人口 …………………21
20. 昼間人口 …………………………………21

◆行　政
21. 歴代市長 …………………………………22
22. 歴代助役 …………………………………22
23. 歴代収入役 ………………………………23
24. 市職員数 …………………………………23
25. 選挙投票状況 ……………………………24
26. 地区別基本選挙人名簿登録者数 …………24
27. 議会活動の状況 …………………………26
（１）本会議の状況 …………………………26
（２）委員会等の状況 ………………………26
（３）付議事件の処理状況 …………………26
28. 請願陳情処理状況 ………………………26
29. 歴代市議会議長及び副議長 ……………27
30. 市議会議員 ………………………………27

◆財　政
31. 一般会計予算（当初） …………………28
32. 特別会計等予算（当初） ………………28
33. 一般会計歳入歳出決算 …………………29
34. 特別会計等歳入歳出決算 ………………29
35. 市税負担状況 ……………………………30
36. 市税納税者数 ……………………………30
37. 市有財産の状況 …………………………30

◆教育文化
38. 歴代教育長 ………………………………31
39. 教育委員 …………………………………31
40. 学校別児童生徒数 ………………………31
41. 中学校進路別卒業者状況 ………………32
42. 学校の教職員数・生徒児童数 …………32
43. 高等学校卒業者状況 ……………………32
44. 幼稚園の幼児数・教職員数等 …………33
45. 幼稚園年齢別幼児数 ……………………33
46. 公民館 ……………………………………33
47. 市立図書館 ………………………………33
48. 勝山市の文化財 …………………………34
49. 勝山市の文化財分布図 …………………36

◆農　業
50. 農家戸数と人口 …………………………37
51. 農業従事者 ………………………………37
52. 家畜飼養農家と家畜、家きん頭羽数 ……37
53. ３類１等裸米政府売渡価格の推移 ………37
54. 専業・兼業農家数の推移 ………………38
55. 経営耕地面積 ……………………………38
56. 経営耕地面積別農家数の推移 …………38
57. 地区別農産物販売別農家数 ……………39
58. 地区別農用機械所有台数 ………………39
59. 地区別農業の状態 ………………………40
60. 作物別収穫（栽培）面積 ………………40
61. 農業集落排水事業 ………………………41
62. 勝山市の主な特産物 ……………………41

◆林　業
63. 保有山林面積規模別農林家数 …………42
64. 林野総面積 ………………………………42
65. 造林伐採面積 ……………………………42
66. 地区別山林面積 …………………………43
67. 林産物 ……………………………………43

◆事業所
68. 産業別就業人口 ……44
69. 産業分類別事業所数・従業者数の推移 ……46
70. 規模別産業大分類別事業所数及び従業員数 ……46

◆商工業
71. 商業の実体 ……47
72. 従業者規模別商店数 ……47
73. 工業の推移 ……48
74. 産業分類別工業の概況 ……48

◆市民所得
75. 市民所得概況 ……49
76. １人当たりの市（県・国）民所得 ……49
77. 市民所得関連指標 ……49
78. 主要項目別分配所得 ……50
79. 産業別市内純生産 ……50

◆福祉　保障
80. 生活保護の状況 ……51
81. 市営住宅 ……51
82. 国民年金加入状況 ……51
83. 国民年金（拠出）受給状況 ……52
84. 保育園の状況 ……52
85. 児童センターの状況 ……52
86. 高齢化率 ……53
87. 介護保険要介護（要支援）認定者数 ……53
88. 介護保険利用状況 ……53

◆保健　衛生
89. 健康診査受診状況 ……54
90. 国民健康保険加入状況 ……54
91. 国民健康保険税負担額及び給付費用状況 ……54
92. 医療関係施設 ……54
93. 医療関係者 ……55
94. 死因別死亡者数 ……55
95. 勝山市のごみ ……56
96. ごみ処理状況（燃やせるごみ） ……56
97. ごみ処理状況（燃やせないごみ） ……56
98. ごみ処理状況（資源化物回収状況） ……57
99. リサイクル率 ……57
100. １人当たりごみ排出量 ……57
101. 合併処理浄化槽設置整備状況 ……57

◆警察　消防
102. 刑法犯罪の発生・検挙の状況 ……58
103. 交通事故（人身事故） ……58
104. 月別交通事故発生状況（人身事故） ……58
105. 運転者年齢別交通事故発生状況（人身事故） ……59
106. 消防団員の現況及び配置 ……59
107. 消防水利現況 ……59
108. 消防車輌等の保有数 ……60
109. 火災件数 ……60
110. 救急出動件数 ……60

◆生活環境
111. 交通災害共済年度別状況 ……61
112. 公害発生施設届出状況 ……61
（１）大気汚染防止法による煤煙発生施設 ……61
（２）大気汚染防止法による粉塵発生施設 ……61
（３）水質汚濁防止法による特定事業場 ……61
（４）福井県公害防止条例による悪臭に係る届出状況 ……61
（５）福井県公害防止条例による地下水採取届出状況 ……62
（６）騒音規制法による届出状況 ……62
（７）振動規制法による届出状況 ……62

◆建　設
113. 道路の状況 ……63
114. 国道整備状況 ……63
115. 主要地方道整備状況 ……63
116. 一般県道整備状況 ……64
117. 市道整備状況 ……64
118. 橋梁の状況 ……65
119. 普通世帯住居の種類・住宅の所有関係別住居の状況 ……65

◆都市計画
120. 都市計画用途地域 ……66
121. 防火地域 ……66
122. 都市計画街路 ……66
123. 都市公園 ……67
124. 土地区画整理事業 ……67

◆上水道
125. 水道普及状況 ……68
126. 水道給水状況 ……68

◆下水道
127. 下水道計画概要 ……69
128. 下水道整備普及状況 ……69
129. 浄化センターの処理の流れと処理量 ……70

◆労　働
130. 一般職業紹介状況 ……71

131. 雇用保険給付状況 ························71
132. シルバー人材センター事業状況 ············71

◆運輸　通信
133. 私鉄主要駅乗降客状況（定期券使用）········72
134. 私鉄主要駅乗降客状況（定期券以外）········72
135. 自動車保有台数 ·························73
136. 郵便局及びその他の施設 ··················73
137. 郵便物取扱状況 ·························73

◆観　光
138. 観光地別入込状況調査 ····················74
139. 観光地入込観光客調査 ····················74
140. 市内観光案内図 ·························76

◆施　設
141. 雁が原青少年旅行村利用状況 ··············78
142. 東山いこいの森利用状況 ··················78
143. 海洋センター利用状況 ····················79
144. 林業者トレーニングセンター利用状況 ······79
145. 勤労青少年体育センター利用状況 ··········79
146. 市営体育館利用状況 ······················79
147. 勤労婦人センター利用状況 ················79
148. 温泉センター水芭蕉利用状況 ··············79
149. 教育福祉会館利用状況 ····················80
150. 市民会館利用状況 ························80

市内の主な官公庁、施設等 ····················81

勝山市行政機構図 ····························84

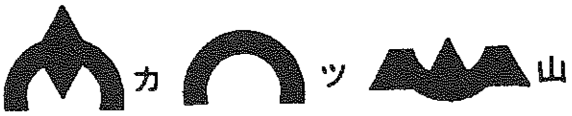
概　要

◎市制施行及び市章の説明

市制施行……昭和２９年９月１日

大野郡北部に位置する勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、遅羽村、鹿谷村の１町８箇村が合併して勝山市が誕生した。

市章の説明



をもって勝山を意味する。

さらに福井市、大野市、金沢市の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、丸と三角とを組み合わせて将来の発展を意味する。

１．沿　　革

本市には、古く縄文時代から九頭竜川の両河岸段丘に人が暮らしていたことが、点在する縄文遺跡によって知られている。

奈良時代に越の大徳と呼ばれた泰澄大師により開かれたと伝えられる白山中宮平泉寺は、白山信仰の一大拠点として最盛時には４８社３６堂６千坊を誇り、越前文化の中心的存在として商工業が繁栄し、また、文化も大いに高まり栄えたが、一向宗徒の焼き討ちにより一夜にしてその栄華を失った。

その後、柴田勝安が一揆を鎮め、袋田村に勝山（袋田）城を築きこれを統治した。勝山の地名は一揆勢が立てこもった御立山（通称村岡山）を「勝ち山」と呼んだことから起こったといわれる。以後領主は交代するが、除々に勝山三町（袋田町、後町、郡町）が形成されていった。

元禄４年、小笠原氏が入封、明治に至るまで藩政が続いた。廃藩置県後、機業が勃興し、羽二重を中心とする絹織物の製造が盛んになり、さらに昭和初期には人絹織物の導入によって織物立国を形成した。戦後は、設備の近代化、技術革新により高級合繊織物の一大産地として国内外に知られている。

行政の組織は明治の市制町村制により、現市域内に、１町９箇村が誕生、その後猪野瀬村が、勝山町に編入合併され、昭和２９年９月１日町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村及び遅羽村の１町８箇村が合併し市制を施行、人口39,043人の勝山市が発足した。

以後、市民の努力によって順調に市勢が発展してきているものの、大都市への人口集中化と少子化により本市の人口は次第に減少し、高齢化も年々進んでいる。その結果、平成12年の国勢調査人口は28,143人となっている。

一方、本市を訪れる観光客は着実に増えてきている。国史跡の白山平泉寺旧境内や雁が原スキー場、左義長まつりに年の市といった従来からの観光資源に加え、昭和６２年の越前大仏の落慶、平成４年の越前勝山城博物館の開館、平成５年の法恩寺山リゾート開発計画の中核をなすスキージャム勝山のオープン、更には平成１２年の福井県立恐竜博物館の開館などにより、平成１２年の本市への観光入込客は２０１万人と大幅に増えている。中でも県立恐竜博物館の開館を記念して平成１２年７月２０日から９月１７日まで長尾山総合公園を中心に開催されたイベント「恐竜エキスポふくい2000」の８０万人が大きく寄与している。

平成６年にはリゾート先進地である米国コロラド州アスペン市との間に友好都市提携を結び、市民レベルの相互交流を進め、友好都市の契機ともなったアスペン音楽祭は、毎年、民間組織によって運営されている。

平成９年には白山平泉寺の国史跡指定区域が２００haに拡大され、「勝山市エコミュージアム構想」の大きな柱の一つである中世宗教都市としての発掘整備に期待がかかるとともに観光需要に対応した農林産物や繊維製品の特産品・新商品の開発、加えて中部縦貫自動車道など交通インフラの整備促進に期待が寄せられている。

このように地域特性を活かしたかつやま「ふるさとルネッサンス事業」を積極的に展開し、幅広い交流と人づくりを進めることにより「２１世紀へ躍進、自然と歴史、ふれあいの里・勝山」をめざし活気に満ちた勝山市の実現のため着実な進展が図られている。

２．地　　勢

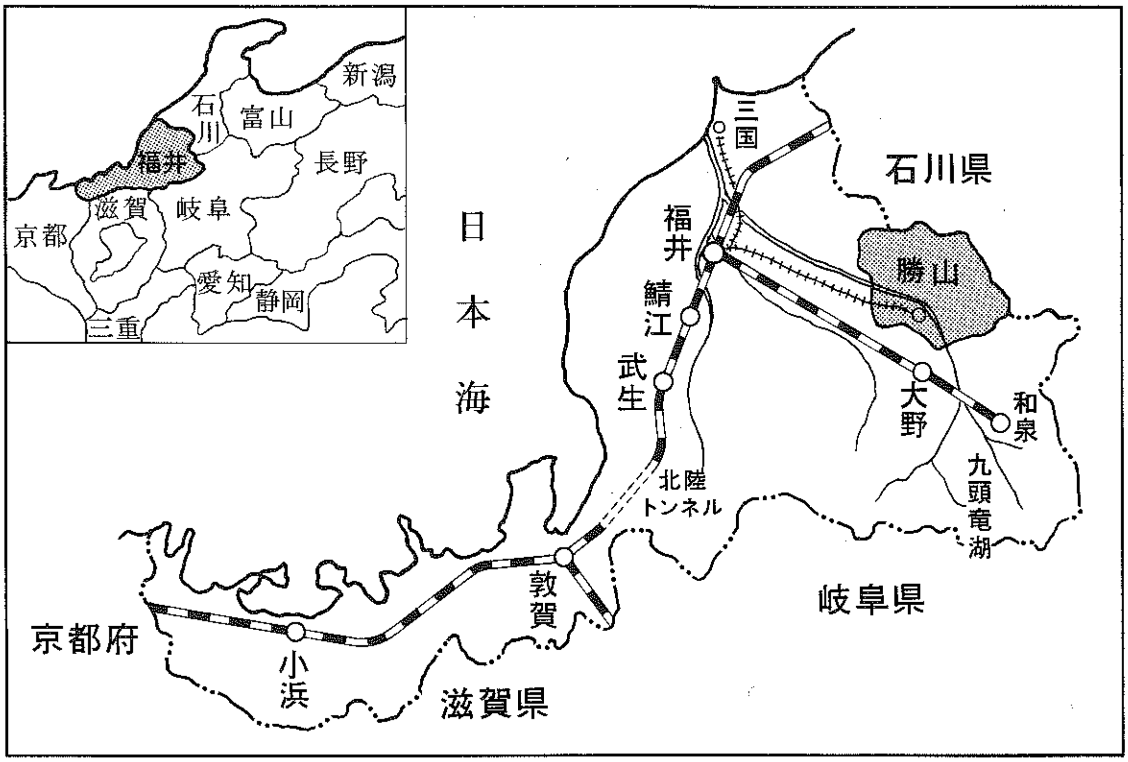
勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約２８kmの地点にあり、東南は大野市に、西南、南は吉田、坂井、足羽の三郡に、北は石川県に隣接している。また、市の周辺は1,000m級の山々に囲まれ、中心部は県下最大河川である九頭竜川の中流域に位置している。

市街地は九頭竜川の流れに沿って形成された河岸段丘に位置しており、明治以来の地場産業である繊維産業を中心とした商工業、古くから盛んな農林業を基幹産業とする水と緑の豊かな田園都市である。

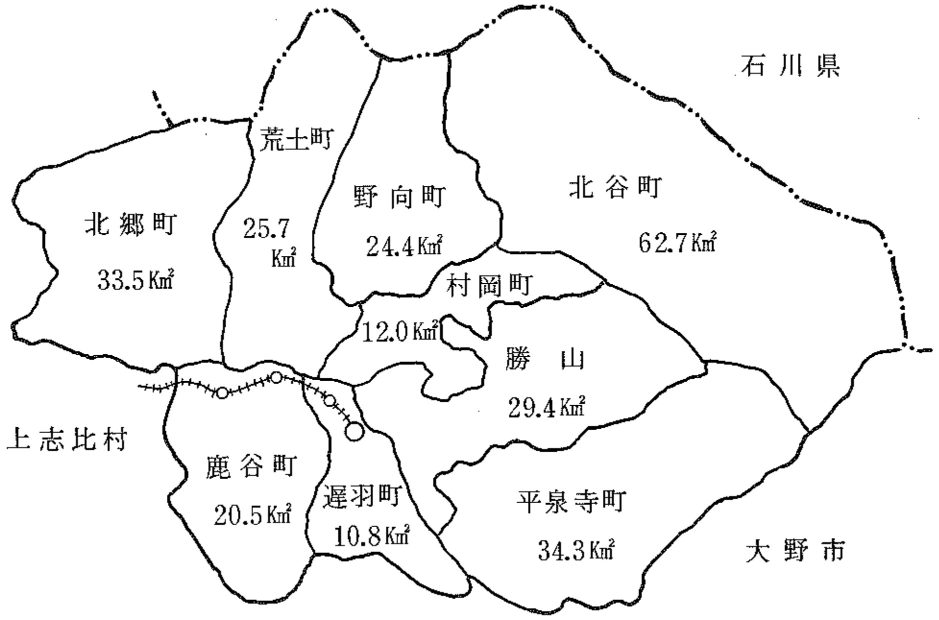
３．位　　置

東　　経	北　　緯	標　　高		面　　積	長　　さ	
		最　　高	市役所		東　　西	南　　北
136° 23'34" 136° 39'44"	36° 0'13" 36° 9'17"	1,671m (大長山)	129.4m (中央公園)	253.68km²	23.3km	17.0km

4．位　置　図



5．面　　積（253.68k㎡）



※ 勝山市の面積については、市制施行以来253.32ｋ㎡としてきたが、昭和62年に国土地理院が全国の25000分の１の地図を作成した際、精査したところ253.68ｋ㎡と判明し、以後はこれをもって面積としている。ただし、旧町村ごとの面積については発表されなかったため、上記の地区ごとの面積の合計は従前のとおり253.32ｋ㎡となっている。

歴　史

6．勝山市の歴史

西　暦	年　号	主　な　出　来　事
紀元前1万年頃	旧石器～縄文時代草創期	平泉寺町赤尾の池から動物を捕獲するため槍の先に付けられた槍先形尖頭石器発見（勝山市内最古の加工品）
紀元前5000年頃	縄文時代早期	滝波地区破入・壁倉地区幕根・嵶崎地区三室・暮見地区古宮などで集落が形成
紀元前2500年頃	縄文時代中期	三室遺跡や滝波遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前1500年頃	縄文時代後期	鹿谷町本郷遺跡や北郷町上野遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前500年頃	縄文時代晩期	猪野口地区大島田遺跡や北郷町志比原遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前100年頃	弥生時代	鹿谷町発坂や北郷町森川周辺の段丘上に弥生集落が形成
300～500年頃	古墳時代	荒土町別所や平泉寺町大渡、鹿谷町発坂、西光寺など集落を見下ろす山の尾根上に有力な人々の古墳が形成
717年	養老元年	泰澄大師が平泉寺を開山
930年頃	承平年間	古文書に猪野毛屋付近をさすと思われる「毛屋郷」の名が散見
1084年	応徳元年	平泉寺が比叡山延暦寺末となり、勢力を拡大
1341年	興国２年	新田義貞の武将、畑時能が伊知地の鷲ヶ岳城にて戦死
1524年	大永４年	平泉寺祭礼に際し流鏑馬の神事を実施
1539年	天文８年	平泉寺賢聖院、約500石の領地を朝倉氏より認知
1574年	天正２年	平泉寺、一向一揆により全山焼失
1575年	３年	柴田義宣が七山家の一揆平定に着手
1577年	５年	柴田義宣は討死、養子勝安が一揆平定
1580年	８年	柴田勝安は村岡山から袋田村に移り、現在の市民会館の地に勝山城築城
1583年	11年	柴田勝安は賤ヶ岳で討死、その後丹波長秀の重臣成田重正が勝山城に入封 太閤検地開始
1601年	慶長６年	福井藩領となり、家臣林長門が勝山城代
1615年	元和元年	勝山城は一国一城令により、取りこわし
1524年	寛永元年	松平秀康の５男松平直基が勝山藩（３万石）を統治
1536年	12年	松平秀康の6男松平直良が勝山藩（３万５千石）を統治
1644年	正保元年	福井藩預かり地となり、瓦門番が交代で統治
1686年	貞亨３年	福井藩減封により、幕府直轄領となり勝山陣屋が置かれ、三人の代官を配置
1691年	元禄４年	勝山藩主（2万2,777石）として小笠原貞信、美濃高須より移封

西　暦	年　号	主　な　出　来　事
1702年	元禄15年	九頭竜川が氾濫し堤防決壊、田畑家屋流出（長渕は一面川原）
1706年	宝永３年	九頭竜川堤防復旧工事完成
1708年	５年	二代信辰、勝山城主
1709年	６年	幕府より築城の奉書が出され、築城に取り掛かるが本丸のみ完成（再建）
1715年	正徳５年	後町より出火、寺院3・町屋120軒焼失
1721年	享保６年	再び九頭竜川氾濫
1726年	11年	女神川氾濫、猪野口村全滅（58軒中の48軒流出、死者75人）
1746年	延享３年	城下に大火発生、郡町（現本町4丁目付近）から出火、袋田町・後町・武家屋敷に延焼、全町630軒のうち458軒焼失
1771年	明和８年	五代信房築城を再開、二ノ丸土居と堀を築き、ここに居館を移動 財政建て直しのため税制の改正をはじめたので、領内に百姓一揆が起こり、これを中止
1781年	安永10年	城下に大火発生、民家582軒、武家屋敷89軒余焼失
1782年	天明２年	町火消しを組織（袋田町・後町・郡町火消組3組）
1783年	３年	当時戸数2,868軒、人口11,561人
1793年	寛政５年	六代長教、二ノ丸櫓台、三ノ丸土居と堀を築造
1799年	11年	城下に大火発生、郡町128軒、後町155軒、尊光寺など11箇寺焼失
1822年	文政５年	勝山城御殿より出火、門・土蔵・高塀を残して全焼
1823年	６年	勝山城は町・郷からの見舞金で復興、瓦と桧皮葺の御殿が完成
1826年	９年	七代長貴築城再開、北側の堀を掘り、東の土居、櫓台を築き二ノ丸完成
1831年	天保２年	大凶作
1833年	４年	再び大凶作
1836年	７年	大飢饉2年続き、城下に打ち壊し、貧民・死者が続出
1841年	12年	泰魯斉の進言と家老林毛川の努力により、読書堂（翌々年成器堂と改称）を建設
1842年	13年	長渕大火、長渕81軒・後町7軒焼失、滝波村85軒類焼
1848年	嘉永元年	長山鉄砲場に講武台を建設開始（7年後の安政2年に完成）
1850年	３年	勝山藩、はじめて大砲を鋳造
1853年	６年	勝山藩「煙草改会所」を設置
1857年	安政４年	勝山藩「煙草改会所」を「産物改会所」と改称
1869年	明治２年	小笠原長守　勝山藩知事に任命 ７月に廃藩置県により勝山県へ （他に現市域内に鯖江県、郡上県、本保県の一部あり）
1871年	４年	勝山県等を廃し福井県へ　福井県を廃し足羽県へ
1872年	５年	勝山郵便取扱所創立

西　暦	年　号	主　な　出　来　事
1872年	明治５年	学制発布により成器小学校を設置（順次各地区に設置され、明治15年には28の小学校が創立）
		区制改正により全町村17大区に変更
1873年	６年	足羽県を廃し、越前・若狭を合わせて敦賀県
1876年	９年	敦賀県を廃止し、現市域は石川県26大区に所属
		勝山製糸会社(三の丸製糸)創立
1878年	11年	大小区を廃止し、郡に郡長、町村に戸長を設置
1881年	14年	石川、滋賀の2県より若越11郡を分離して福井県を設置(現在の県域がほぼ確定)
		大野警察署勝山分署設置
1888年	21年	製糸業大いに興り、製品を海外に輸出
1889年	22年	町村制実施され勝山町、猪野瀬村、平泉寺村、村岡村、野向村、北谷村、遅羽村、荒土村、北郷村、鹿谷村(1町9箇村)
1896年	29年	勝山大火、立石より出火、町屋1,200余軒・寺18箇寺焼失(勝山町全戸数の80%)
1897年	30年	勝山葉タバコ専売所開設
1904年	37年	勝山～福井間に乗合馬車開通
1911年	44年	勝山町電話開通
1912年	大正元年	下荒井に簡単な鉄線懸木造つり橋が架橋
1914年	３年	福井～勝山～大野間電車開通(越前電気鉄道創設)
1915年	４年	勝山橋架橋
1920年	９年	第1回国勢調査
1921年	10年	小船渡に船橋に代わって小船渡橋が架橋
1931年	昭和６年	猪野瀬村を勝山町に編入
1932年	７年	人絹織物業が盛んとなり、工場数69、工員3,000人、生産額1,300万円
1933年	８年	成器女子校・町役場焼失、翌日尊光寺も焼失
1937年	12年	勝山橋の木橋の一部が流失、鉄筋コンクリート橋に改修
1942年	17年	私立勝山精華女学校開校
1946年	21年	勝山病院開設
1948年	23年	勝山高等学校開校
		谷トンネル開通
1949年	24年	勝山商工会創立
1950年	25年	勝山中学校及び成器南小学校新築落成
1954年	29年	1町8箇村合併し市制施行(初代市長　山内継喜)
1957年	32年	雁が原スキー場オープン
		財政再建団体の指定
		勝山北部中学校開校
1958年	33年	新市庁舎落成

西　暦	年　号	主　な　出　来　事
1959年	昭和34年	伊勢湾台風猛威（被害5億円）
1961年	36年	市消防本部、市消防署設置
		第2室戸台風（被害2億円）
1962年	37年	白山国定公園が国立公園に昇格
		市有林100万本植樹完了
		電話自動化
1963年	38年	38(サンパチ)豪雪(被害10億円)
		勝山橋架け替え工事完成
		勝山総合病院完成
		市上水道建設事業竣工
		農業構造改善事業計画地域としての指定及び低開発地域工業開発地区の指定
		市議会議員の選挙を大選挙区制に変更を決議
1964年	39年	勝山新大用水完成
		市制10周年記念行事実施
		勝山都市計画正式決定
1965年	40年	市農協誕生及び市農業センター完成
		緊急道路整備3箇年計画に着手
		40.9三大風水害(被害総額18億円)
1966年	41年	交通安全都市宣言及び青少年愛護都市宣言
		福井～勝山線県道舗装完成
		新住居表示実施
		市営火葬場落成
1967年	42年	勝山中部中学校校舎完成
		市民会館落成
1968年	43年	第23回国民体育大会(勝山市において4種目開催)
		財政再建団体の指定
1969年	44年	下荒井隧道・市荒川大橋完成
1970年	45年	下荒井橋完成
1971年	46年	雇用促進住宅「下毛屋宿舎」、勤労者体育センター、老人センター「平泉寺荘」完成
		大野・勝山地区広域市町村計画策定
1972年	47年	国道157号新谷トンネル開通
1973年	48年	勝山市総合振興計画決定
1974年	49年	勝山南部中学校開校(中学校統合計画完了)
		京福電鉄越前本線勝山～大野間廃線
		市制20周年記念行事実施
1975年	50年	成器西小学校が旧勝山中学校跡へ移転

西　暦	年　号	主　な　出　来　事
1975年	昭和50年	財政再建計画5年短縮して完了
		勝山市名誉市民条例制定
1976年	51年	教育福祉会館落成
		名誉市民第1号多田清氏
		多田育英基金設立
		中央公園完成
		市公共下水道事業着手
1977年	52年	農村整備事業着手
		市農協カントリーエレベーター完成(伊波)
1978年	53年	市営庭球場及び市営弓道場完成
		勝山・上志比衛生センター完成
1979年	54年	長山公園グラウンド夜間照明施設完成
		北児童センター完成
		一般国道157号開通(谷峠付近)
1980年	55年	東山いこいの森完成
		市農協カントリーエレベーター完成(岡横江)
1981年	56年	56豪雪
		勝山市新総合振興計画基本構想の策定
		消防本部、消防署発足20周年記念行事実施
		商工会議所創立30周年記念行事実施
		南児童センター完成
1982年	57年	2市1村の連携による奥越青少年愛護センターを設置
		越前大仏起工式
		遅羽農村環境改善センター落成
		西児童センター完成
		勤労婦人センター完成
1983年	58年	B&G財団勝山海洋センター完成
		林業者健康トレーニングセンター完成
1984年	59年	市営住宅本町団地完成
		南保育園完成
		野向小学校校舎完成
		長山トンネル開通
		雁が原青少年旅行村開設
		越前大仏大門・中門・回廊起工式
		市制30周年記念行事実施
		市の木「スギ」、市の花「サツキ」を制定
		国道416号・バイパス伊波～滝波間開通
1985年	60年	克雪センター完成

西　暦	年　号	主　な　出　来　事
1985年	昭和60年	浄化センター通水式
		荒土小学校校舎完成
		奥越地域地場産業振興センター竣工式
		クリーンセンター火入れ式
		奥越花卉集出荷場竣工式
1986年	61年	温泉ボーリング調査起工式(村岡町浄土寺地係)
		全市ごみ収集開始
		農業共済事業奥越で広域化
		国道157号谷トンネル付近で土石流発生
		北郷児童センター落成
		国が選ぶ水辺環境100選に「弁天緑地」
		日本の道100選に「中宮平泉寺参道」
		林道河合線完成
1987年	62年	特別養護老人ホーム「さくら荘」落成
		越前大仏開眼・落慶法要
		勝山市日中友好協会設立
		村岡小学校第2体育館落成
1988年	63年	勝山北部中学校体育館落成
		さくら荘デイサービスセンター落成
		鹿谷児童センター落成
		市農協開館落成
		北谷町杉山で1億2千万年前の肉食恐竜の化石発見
		広域基幹林道「法恩寺線」全線開通
		勝山商工会館新築落成
1989年	平成元年	勝山南高等学校開校(旧勝山精華高等学校)
		(社)シルバー人材センター発足
		一般廃棄物(不燃物)最終処分場「グリーンヒル上野」完成
		「平泉寺坊院跡」発掘調査開始
1990年	2年	第3次勝山市総合振興計画基本構想の策定
		ニューメディアコミュニティパソコン実験ネット開局
		温泉センター「水芭蕉」落成
		アイドルキャラクター「チャマゴン」誕生(10／10)
1991年	3年	消防庁舎落成
		市立図書館落成
		野向小学校屋内運動場改築
		アスペン音楽祭開催(第1回)
1992年	4年	温泉センター「ふれあい会館」落成
		白山国立公園昇格30周年記念事業実施

西　暦	年　号	主　な　出　来　事
1992年	平成４年	ふるさと森林館落成
		法恩寺山・芳野原リゾート開発本格着工
		蓬生坂トンネル開通
		越前勝山城博物館落成
		法恩寺有料道路開通
1993年	５年	デイサービスセンター「九頭竜」落成
		平泉寺保育園新築
		勝山南大橋開通
		老人保健施設「鷲巣苑」落成
		スキージャム勝山オープン
1994年	６年	市制40周年記念事業実施
		福祉バス運行開始
		米国アスペン市と友好都市提携調印
		恐竜文化賞を創設、全国から児童文学作品などを募集
		暴力追放市民総決起大会
		「ゆとり創造宣言都市」の指定
		勝山市老人保健福祉計画策定
1995年	７年	市営南大橋住宅が完成
		まちづくり景観条例を制定
		阪神・淡路大震災被災地に救援物資を輸送
		印鑑登録オンライン化
1996年	８年	「京福電車存続対策勝山市民会議」を結成、存続運動が活発化
		老人保健施設「シルバーケア九頭竜」落成
		勝山橋本橋工事開始
		小松市、白峰村と災害相互応援協定締結
		白山禅定道が「歴史の道百選」に選ばれる
		子育て支援センター開設
		県が県立恐竜博物館（仮称）　を長尾山に建設決定
		県立クレー射撃場オープン
		「恐竜文化賞」の絵本などを発刊
1997年	９年	国史跡「白山平泉寺旧境内」拡大指定
		あさひ公園完成
		洛陽市交流10周年、越前大仏落慶10周年記念合同事業実施
		北谷小学校廃校
		長尾山総合公園事業着工
		「桜づつみ」に建設省「手作り郷土賞」
		雇用促進住宅「サン・コーポラス鹿谷」完成
		都市計画道路「元禄線」完成

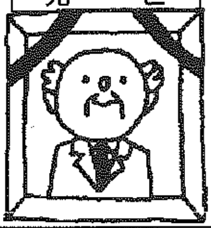
西　暦	年　号	主な出来事
1997年	平成９年	勝山市緑の基本計画策定
1998年	10年	県立恐竜博物館着工
		中部縦貫自動車道勝山地係で着工
		ふくい県民長寿祭勝山で開催
1999年	11年	「恐竜エキスポふくい2000」勝山市実行委員会発足
		チャマゴンにガールフレンド「チャマリン」誕生(7／27)
		京福電車と地球を愛する会発足
		かつやま子どもの村小学校開校(旧北谷小学校跡地)
		ふれあい交流館「勝山ニューホテル」オープン
		ロードパーキング「恐竜街道」オープン
		ねんりんピック’99福井(ウォークラリー会場)
		中部縦貫自動車道油坂峠道路開通
		福井社会保険病院移転開業(旧勝山病院)
		勝山北部デイサービスセンター落成
		老人保健施設「サンビューかつやま」落成
		第2回恐竜文化賞作品を募集
2000年	12年	ﾁｬﾏｺﾞﾝ・ﾁｬﾏﾘﾝ路線バス運行開始
		新勝山橋開通
		「いきいきかっちゃま健康づくりプラン」第3次保健計画策定
		勝山市老人保健福祉計画・勝山市介護保険事業計画策定
		市街地循環福祉バス「きらめき号」運行開始
		福井県立恐竜博物館オープン
		恐竜エキスポふくい2000開催(7／20～9／17)
		「活力あるまちづくり」自治大臣賞受賞
2001年	13年	第１回「ふるさとルネッサンスの集い」開催
		火葬場「和みの杜」完成
		第４３回県緑化大会開催
		健康ウォーキング開催
		市民の声・メールボックスの設置
		京福電車存続総決起集会開催
		京福電車正面衝突事故
		勝山消防本部・署発足４０周年記念式典開催
		平泉寺白山神社境内の杉と鮮苔(せんたい)のかおりが「かおり風景１００選」に選ばれる
		白山文化フォーラムｉｎ勝山’０１開催

市民生活

出　　生

月１５．３３人

死　　亡

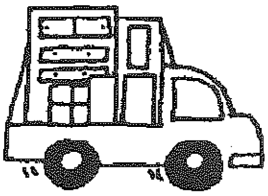


月２３．００人

転　　入

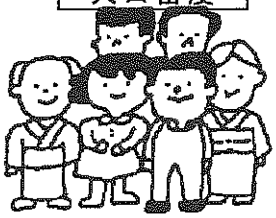
月３８．８３人

転　　出



月５０．０８人

人口密度

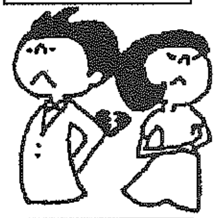


1km²当たり112.5人

結　　婚

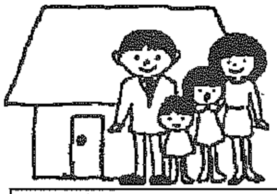
月９．９２組

離　　婚



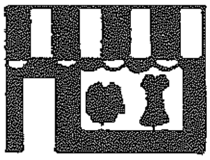
月３．００組

家　　族



１世帯に３．６５人

商　　店

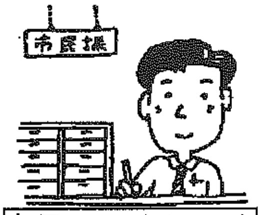


15.9世帯に1店

教　　員

小学生11.9人に１人
中学生13.2人に１人

市職員



市民58.0人に１人

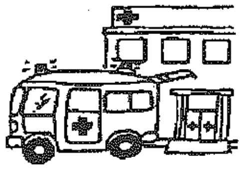
消防職員

市民729.7人に１人

医　　師

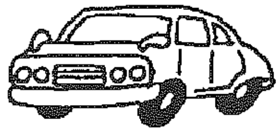
市民594.7人に１人

救急車出動



月５５．１件

自家用自動車

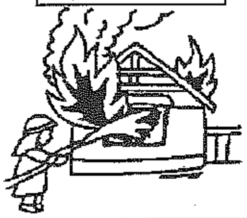


１世帯に２．５台

交通事故

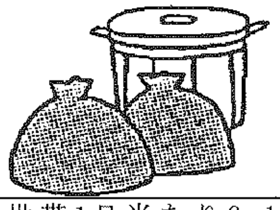
月９．９件

火　　災



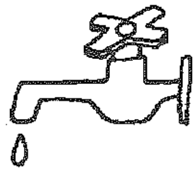
２６．１日に１件

ゴミ排出量



1世帯1日当たり2.1kg

上水道



1人1日当たりの使用量０．３２㎥

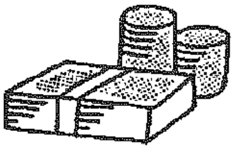
下水道

普及率６９．３％

市　　税

市民１人当たり122,063円

市の予算



市民１人当たり797,135円

※算出にあたっては、世帯数及び人口については平成１３年１０月１日現在の世帯数及び人口を、その他のデータについては最新の数字を基礎にした。

気　象

7．気象の概況（平成１２年）

観測地点…勝山地域気象観測所（４要素：勝山市平泉寺町平泉寺８６字岡道北９－１）

（降雪・積雪：勝山市立川町２－２）

区分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
気温	平均	日平均気温　℃	2.6	-0.3	3.5	10.4	17.5	20.7	25.5	26.5	22.1	15.8	10.4	3.6	13.2
		同上準平年値 ℃	1.3	1.6	4.7	11.7	16.9	21.1	24.1	25.9	21.3	14.8	9.4	4.0	13.0
		日最高気温　℃	6.0	2.7	7.9	15.1	22.2	24.8	29.9	31.8	26.5	20.4)	14.9	7.8	17.5)
		同上準平年値 ℃	4.5	5.3	9.6	17.7	22.7	26.1	28.8	31.1	26.4	20.5	14.6	8.1	17.9
		日最低気温　℃	-0.3	-2.7	-0.6	5.3	13.1	17.1	21.7	22.0	18.4	11.7)	6.1	0.1	9.3)
		同上準平年値 ℃	-1.9	-1.9	0.3	6.0	11.3	16.7	20.3	21.6	17.2	10.1	5.0	0.5	8.8
	極値	最高気温　℃	14.0	9.4	15.8	20.6	29.4	30.8	34.4	34.5	31.8	25.6)	23.4	15.3	34.5
		同上起日	6	14	31	21	26	20	23	29	15	11	7	9	8月29日
		最低気温　℃	-5.2	-6.0	-4.4	-0.1	7.2	11.2	16.7	17.5	11.9	3.9)	-1.5	-5.0	-6.0
		同上起日	27	26	10	2	4	5	10	24	28	31*	29	30	2月26日
	日数	最高気温≧25℃	-	-	-	-	6	12	30	31	19	1)	-	-	99)
		最低気温＜ 0℃	19	28	21	1	-	-	-	-	-	0)	1	17	87)
降水量	降水量合計　mm		124	151	202	130	103	187	63	23	313	145	141	189	1,771
	同上準平年値　mm		274.4	210.9	162.6	149.4	173.8	213.4	330.2	136.8	232.3	159.7	213.2	279.7	2,555.6
	最大	日降水量　mm	17	19	37	28	29	67	49	16	84	28	42	28	84
		起日	7	15	29	21	31	23	25	14	11	25	2	25	9月11日
	日数	≧　1㎜	19	25	19	14	14	11	3	3	14	13	12	20	167
		≧１０㎜	6	6	8	5	3	5	1	1	8	5	4	8	60
		≧３０㎜	-	-	2	-	-	3	1	-	4	-	2	-	12
風向・風速	最大	風速　m／s	9	13	12	10	9	6	11	8	11	10)	9	10	13
		同上風向(16方位)	SE	NW	WNW	SE	SE	SE	SSE	SSE	SE	N	NW	NW	NW
		同上起日	6	9	24	10	27*	30*	31	31*	16	30	17	11	2月9日
	最多風向（16方位）		NW	NNW	E	E	E	E	E	E	E	E)	E	E	
	≧10m/sの日数		-	2	3	1	-	-	2	-	2	1)	-	1	12)
日照	日照時間　h		73.7	55.8	126.1	124.3	124.3	83.0	131.3	225.5	146.0	134.7	117.8	99.8	1,442.3
	不照日数		8	5	6	8	6	15	5	3	4	6	4	6	76
雪	最深積雪　cm		27	53	44	-	-	-	-	-	-	-	-	20	53
	同上起日		22	18	9	-	-	-	-	-	-	-	-	27	2月18日
	積雪日数（≧０）		17	26	18	-	-	-	-	-	-	-	-	12	73
	降雪の深さの合計 cm		49	161	65	-	-	-	-	-	-	-	-	43	318
	降雪の深さの最大値cm		24	30	26	-	-	-	-	-	-	-	-	10	30

資料：福井地方気象台

（注）平均気温…日平均気温（毎正時２４回の平均）の月・年の平均値。
最高（低）気温…日最高（低）気温（毎正時２４回の最高（低）値）の月・年の最高（低）値。
最大風速…日最大風速（毎正時２４回の最大）の月・年最大値。
降水量…日降水量（毎正時２４回の合計）の月・年合計値。
日照時間は太陽電池式日照計による。
降雪…当日９時～翌日９時観測。
最深積雪…毎日９時観測で積雪の深さの月または年最大値。
）を含む値は統計値に欠測を含むがその回数が統計期間の２０％以下の場合、正常な値として同等に扱う。
＊は同一の極値が2個以上。日付は新しいものを採用。
準平年値は移設により統計断のため旧観測所（勝山市立川町２－２）の資料です。

＜解説＞冬（１９９９年１２月～２０００年２月）は１２月２０日前後に平野部でまとまった積雪となり、２月中旬に嶺南を中心に大雪となったが、北陸地方は４年連続の暖冬となった。春の平均気温は平年並みだったが、梅雨前線の不活発及び梅雨明け後の高温、少雨により水不足が顕著となった。９月１０日前後に前線活動の活発化により大雨が降り、土砂災害が発生した。台風の発生は２３個、上陸は０個となり台風本体による気象災害は少なかった。

8．過去の気象最高（低）記録

区分	記録	記録年月日	備考
最高気温（極）	37.8℃	昭和35年 8月 2日	大正元年～平成12年
最低気温（極）	－14.7℃	大正 2年 2月12日	大正元年～平成12年
日最大降水量	232mm	昭和40年 9月14日	明治32年～平成12年
最深積雪	325cm	◆昭和38年 1月31日	大正 2年～平成12年
日最大降雪量	100cm	昭和55年 12月28日	大正 2年～平成12年
日最大風速	16m/s南南東	平成 3年 9月27日	昭和53年～平成12年

資料：福井地方気象台

（注）◆は同一の極値が２個以上。日付は新しいものを採用。
昭和５０年７月～昭和５１年１２月までの観測休止期間を除く。

9．寒候期年別最深積雪

区分	積雪	起日	区分	積雪	起日
昭和54年	55	1月16日	平成２年	80	1月26日
55年	165	◆2月17日	３年	128	2月24日
56年	270	1月15日	４年	45	1月24日
57年	51	◆2月10日	５年	54	2月 2日
58年	140	2月21日	６年	69	1月24日
59年	165	◆2月10日	７年	88	2月 7日
60年	142	12月31日	８年	115	2月 4日
61年	158	1月12日	９年	43	1月30日
62年	97	3月 1日	10年	57	1月27日
63年	76	2月10日	11年	68	◆2月 6日
平成元年	57	12月17日	12年	91	12月21日

資料：福井地方気象台

（注）寒候期とは前年１１月～当年４月まで。
◆は同一の極値が２個以上。日付は新しいものを採用。
９時の観測値での寒候期最大値。

10．月別平均気温・降水量の準平年値

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
平均気温（℃）	1.3	1.6	4.7	11.7	16.9	21.1	24.1	25.9	21.3	14.8	9.4	4.0	13.0
最高気温平均（℃）	4.5	5.3	9.6	17.7	22.7	26.1	28.8	31.1	26.4	20.5	14.6	8.1	17.9
最低気温平均（℃）	-1.9	-1.9	0.3	6.0	11.3	16.7	20.3	21.6	17.2	10.1	5.0	0.5	8.8
降水量（mm）	274.4	210.9	162.6	149.4	173.8	213.4	330.2	136.8	232.3	159.7	213.2	279.7	2,555.6

資料：福井地方気象台

（注）平均気温は毎正時の２４回観測の平均値。
最高（低）気温は毎正時の２４回観測の最高（低）値の平均値。
統計期間は昭和５４年から平成２年。

世帯と人口

11. 世帯数と人口

（各年：人・戸・%）

区分	世帯数	人口				1世帯当たり人口	人口密度（1k㎡当たり）
		総数	男	女	女百人に対する男		
大正9年〔第1回国勢調査〕	5,862	28,852	13,923	14,929	93.3	4.9	113.7
14年〔第2回国勢調査〕	5,777	28,381	13,909	14,472	96.1	4.9	111.9
昭和5年〔第3回国勢調査〕	・・・	29,092	14,284	14,808	96.5	・・・	114.7
10年〔第4回国勢調査〕	・・・	31,945	15,658	16,287	96.1	・・・	125.9
15年〔第5回国勢調査〕	6,333	31,404	15,341	16,063	95.5	5.0	123.8
22年〔第6回国勢調査〕	・・・	37,485	17,622	19,863	88.7	・・・	147.8
25年〔第7回国勢調査〕	7,598	38,962	18,502	20,460	90.4	5.1	153.6
30年〔第8回国勢調査〕	7,452	37,556	17,727	19,829	89.4	5.0	148.0
35年〔第9回国勢調査〕	7,584	36,531	16,989	19,542	86.9	4.8	144.0
40年〔第10回国勢調査〕	7,473	34,828	16,248	18,580	87.4	4.7	137.3
45年〔第11回国勢調査〕	7,532	32,691	15,417	17,274	89.2	4.3	128.9
50年〔第12回国勢調査〕	7,652	31,025	14,929	16,096	92.7	4.1	122.3
55年〔第13回国勢調査〕	7,731	30,852	14,962	15,890	94.2	4.0	121.6
60年〔第14回国勢調査〕	7,718	30,416	14,715	15,701	93.7	3.9	119.9
平成2年〔第15回国勢調査〕	7,701	29,805	14,400	15,405	93.5	3.9	117.5
7年〔第16回国勢調査〕	7,733	29,162	14,033	15,129	92.8	3.8	115.0
12年〔第17回国勢調査〕	7,942	28,143	13,391	14,752	90.8	3.5	111.0

資料：国勢調査

12. 地区別世帯数及び人口

平成14年1月1日現在 （単位：人・戸）

区分	世帯数	人口			1世帯当たり人口
		総数	男	女	
総数	7,803	28,182	13,579	14,603	3.6
勝山	3,405	11,408	5,481	5,927	3.4
猪野瀬	502	1,889	910	979	3.8
平泉寺	315	1,322	652	670	4.2
村岡	1,335	4,791	2,301	2,490	3.6
北谷	74	147	67	80	2.0
野向	229	918	429	489	4.0
荒土	531	2,207	1,054	1,153	4.2
北郷	525	2,159	1,048	1,111	4.1
鹿谷	622	2,332	1,142	1,190	3.7
遅羽	265	1,009	495	514	3.8

※住民基本台帳による

資料：市民生活課

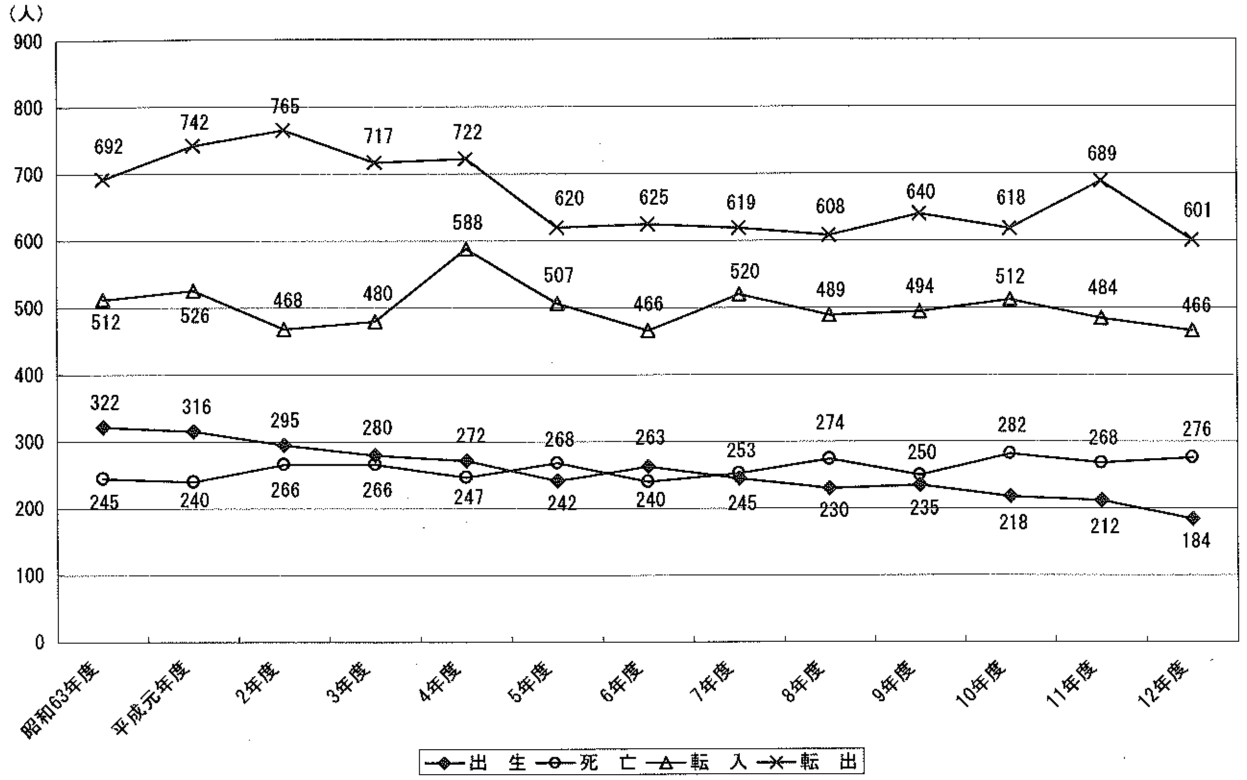
13. 人口動態

（単位：人・組）

区分	自然動態			社会動態			自然動態と社会動態の合計	婚姻	離婚
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減			
昭和63年度	322	245	77	512	692	△180	△ 103	139	11
平成元年度	316	240	76	526	742	△216	△ 140	153	22
2年度	295	266	29	468	765	△297	△ 268	126	16
3年度	280	266	14	480	717	△237	△ 223	128	23
4年度	272	247	25	588	722	△134	△ 109	122	29
5年度	242	268	△26	507	620	△113	△ 139	139	20
6年度	263	240	23	466	625	△159	△ 136	125	18
7年度	245	253	△ 8	520	619	△ 99	△ 107	120	30
8年度	230	274	△44	489	608	△119	△ 163	121	35
9年度	235	250	△15	494	640	△146	△ 161	120	31
10年度	218	282	△64	512	618	△106	△ 170	125	41
11年度	212	268	△56	484	689	△205	△ 261	130	27
12年度	184	276	△92	466	601	△135	△ 227	119	36

資料：市民生活課

14. 人口動態の推移



（人）
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
692
742
765
717
722
620
625
619
608
640
618
689
601
512
526
468
480
588
507
466
520
489
494
512
484
466
322
316
295
280
272
242
263
245
230
235
218
212
184
245
240
266
266
247
268
240
253
274
250
282
268
276
昭和63年度
平成元年度
2年度
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度
8年度
9年度
10年度
11年度
12年度
出　生
死　亡
転　入
転　出

15. 年齢別（5歳階級）人口

（単位：人・%）

区分	平成2年			平成7年			平成12年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	29,805	14,400	15,405	29,162	14,033	15,129	28,143	13,391	14,752
0～4歳	1,615	832	783	1,316	715	601	1,112	528	584
5～9	1,874	969	905	1,673	868	805	1,353	739	614
10～14	2,107	1,071	1,036	1,852	968	884	1,697	880	817
15～19	1,990	1,048	942	1,768	886	882	1,532	800	732
20～24	1,215	532	683	1,507	741	766	1,299	600	699
25～29	1,513	740	773	1,350	620	730	1,524	755	769
30～34	1,738	862	876	1,486	716	770	1,265	592	673
35～39	2,199	1,115	1,084	1,743	853	890	1,481	716	765
40～44	2,332	1,223	1,109	2,184	1,105	1,079	1,736	846	890
45～49	1,816	911	905	2,318	1,223	1,095	2,150	1,077	1,073
50～54	1,860	883	977	1,789	897	892	2,292	1,208	1,084
55～59	2,168	1,045	1,123	1,803	845	958	1,743	866	877
60～64	2,292	1,092	1,200	2,068	983	1,085	1,762	822	940
65～69	1,755	734	1,021	2,188	1,027	1,161	1,978	932	1,046
70～74	1,291	547	744	1,628	655	973	2,034	921	1,113
75～79	1,041	409	632	1,156	468	688	1,449	556	893
80～84	632	259	373	818	286	532	930	331	599
85～89	258	91	167	378	133	245	565	162	403
90歳以上	109	37	72	137	44	93	241	60	181
65歳以上 人口	5,086	2,077	3,009	6,305	2,613	3,692	7,197	2,962	4,235
65歳以上 割合	17.1	14.4	19.5	21.6	18.6	24.4	25.6	22.1	28.7

※平成12.10.1現在県下7市の65歳以上人口の割合、福井市18.6%・敦賀市18.6%・武生市19.6%・小浜市23.4%・大野市24.2%・鯖江市18.5%で、勝山市が25.6%と最も高齢化が進んでいる。

16. 産業分類別・従業上の地位別就業者

各年10月1日現在（単位：人）

区分	平成2年	平成7年 総数	雇用者	役員	雇人のある業種	雇人のない業主	家族従業者
総数	16,417	16,258	11,395	719	416	2,024	1,704
第1次産業	1,849	1,684	52	2	6	888	736
農業	1,809	1,650	27	−	5	885	733
林業・狩猟業	39	33	24	2	1	3	3
漁業	1	1	1	−	−	−	−
第2次産業	7,596	7,288	5,823	425	193	441	406
鉱業	21	40	37	3	−	−	−
建設業	1,800	1,864	1,334	175	94	168	93
製造業	5,775	5,384	4,452	247	99	273	313
第3次産業	6,969	7,283	5,517	292	217	695	562
卸売・小売業	2,454	2,537	1,433	167	141	392	404
金融・保険業	319	299	280	9	2	3	5
不動産業	21	31	24	4	−	2	1
運輸・通信業	658	645	593	21	2	25	4
電気・ガス・水道業	91	86	86	−	−	−	−
サービス業	2,992	3,231	2,647	91	72	273	148
公務	434	454	454	−	−	−	−
分類不能の産業	3	3	3	−	−	−	−

資料：国勢調査（平成12年分については、国から確定数値が発表されていません。）

※産業分類別、就業者では第2次産業、第3次産業がそれぞれ44.8%を占め、第1次産業では10.4%となっている。第1～3次産業の分類は慣例による分類。

17. 人口集中地区（ＤＩＤ）

各年10月1日現在（単位：人・km²）

区分	人口	面積	人口密度(1km²当たり)
昭和55年	12,820	2.4	5,342
60年	12,326	2.6	4,741
平成2年	12,793	2.9	4,411
7年	12,381	2.8	4,360
12年	11,906	3.0	3,995

資料：国勢調査

18. 通勤・通学別流出人口（１５歳以上）　平成７年１０月１日現在（単位：人）

区分	勝山市から他市町村へ		
	総数	就業者	通学
県内他市町村への通勤・通学者	3,914	3,503	411
福井市	2,177	1,930	247
敦賀市	11	11	−
武生市	43	25	18
大野市	944	845	99
鯖江市	46	40	6
美山町	11	11	−
松岡町	152	119	33
永平寺町	99	99	−
上志比村	113	113	−
その他の市町村へ	318	310	8
県外への通勤・通学者	108	88	20
石川県へ	103	83	20
その他の都道府県へ	5	5	−
合計	4,022	3,591	431

資料：国勢調査（平成１２年分については、国から確定数値が発表されていません。）

19. 通勤・通学別流入人口（１５歳以上）　平成７年１０月１日現在（単位：人）

区分	他市町村から勝山市へ		
	総数	就業者	通学
県内他市町村からの通勤・通学者	1,820	1,638	182
福井市	238	237	1
武生市	12	12	−
大野市	1,189	1,067	122
鯖江市	12	12	−
美山町	17	16	1
松岡町	36	35	1
その他の市町村から	316	259	57
県外からの通勤・通学者	36	35	1
合計	1,856	1,673	183

資料：国勢調査（平成１２年分については、国から確定数値が発表されていません。）

20. 昼間人口　平成７年１０月１日現在（単位：人）

区分	常住人口	流入人口			流出人口			昼間人口
		総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	
昭和50年	31,025	944	739	205	2,757	2,259	498	29,212
55年	30,852	1,241	975	266	2,971	2,659	312	29,122
60年	30,416	1,429	1,178	251	3,339	3,077	262	28,506
平成２年	29,805	1,671	1,427	244	3,703	3,399	304	27,773
7年	29,162	1,856	1,673	183	4,022	3,591	431	26,996

資料：国勢調査（平成１２年分については、国から確定数値が発表されていません。）